事業系指定ごみ袋変更に伴うＱ&Ａ

Ｑ１　なぜ、袋が変わるのですか？

Ａ１　泉北環境整備施設組合では、温室効果ガス及びプラスチックの削減、環境保全への意識を高めることを目的に、事業系指定ごみ袋の原材料に植物由来原料（バイオマスプラスチック）を 10%以上配合した材質へ生まれ変わります。

Ｑ２　いつから変わりますか？

Ａ２　令和３年７月ごろから順次、新指定ごみ袋の出荷開始を予定しています。

Ｑ３　旧のごみ袋は使用できなくなるのでしょうか？

Ａ３　変更後は、新旧の指定ごみ袋が混在しますが、旧指定ごみ袋も引き続き使用可能です。旧指定ごみ袋に使用期限は、ありません。お持ちの旧指定ごみ袋が無くなるまで、ご使用いただけます。

Ｑ４　旧ごみ袋は交換（引取り）してもらえるのですか？

Ａ４　交換（引取り）は行いません。新指定ごみ袋発売後も、引き続き旧指定ごみ袋もご使用いただけます。

Ｑ５　販売価格は変わりますか？

Ａ５　販売価格の変更はありません。旧指定ごみ袋、新指定ごみ袋ともに同じ価格です。

45L 袋	700 円/1 セット（10 枚）
70L 袋	1,000 円/1 セット（10 枚）

Ｑ６　指定ごみ袋の色、大きさ（容量）は変わりますか。

Ａ６　袋の色が黄色から透明に変わり、文字が紺色からピンク色に変わります。
指定ごみ袋の大きさ（容量）に変更はありません。45Ｌ袋、70Ｌ袋の 2 種類で、従来と同じ大きさです。

Ｑ７　袋の強度は変わりますか？

Ａ７　指定ごみ袋自体の強度に変更はありません。

Ｑ８　ごみの収集方法に変更はありますか？

Ａ８　収集日、収集回数、分別方法に変更はありません。

Ｑ９　新しいごみ袋はどんな素材でできていますか？

Ａ９　サトウキビを原料とする植物由来のバイオマスプラスチックを 10%以上配合しています。

Ｑ１０　新ごみ袋を導入することにより、年間どのくらいの温室効果ガスを削減することができるのですか。

Ａ１０　令和3年度の指定ごみ袋作製予定数量（45L袋　780,000枚・70L袋　1,980,000枚）から計算すると、温室効果ガスである二酸化炭素を年間約29トン削減することができます。これは、約2,000本の杉の木が1年間に吸収する二酸化炭素の量に相当するとされています。